

緩和医療薬学 改訂第2版

編：日本緩和医療薬学会

B5判／230頁／定価4,400円（本体4,000円＋税10%）

発行：南江堂（2023年4月）

ついに出版しました！初版を活用していた私にとって待ちに待った改訂第2版です。今や「診断時からの緩和ケア」が基本的な考え方となり、終末期だけでなく、がんと診断された時からがん治療と並行して緩和ケアが行われるようになってきています。さらに、がん以外の、非がん慢性疼痛や心不全なども対象になっています。

2013年に初版が発刊され約10年が経ち、薬剤師もチーム医療の一員として緩和医療に関わるようになりました。改訂第2版では、緩和医療に携わるうえでの必要な基本的姿勢、緩和医療に関する知識と実践能力、がんに関する基礎知識、がん以外の特定集団に関する知識と実践能力、チーム医療での実践能力といっ

た薬剤師に必要なスキルが系統立てて記載され、より実践に即した内容となっています。特に、「緩和医療に関する知識と実践能力」では、疼痛マネジメントはもちろん、悪心・嘔吐、食欲不振・悪液質、倦怠感、便秘、下痢、消化管閉塞、腹水・腹部膨満感、呼吸困難、咳嗽、高カルシウム血症、せん妄、不眠、不安など多岐にわたる内容が網羅されています。

本書は、「緩和薬物療法認定薬剤師」の資格取得を目指す薬剤師だけでなく、緩和医療に携わる医療従事者、初学者にもお勧めしたい1冊です。

岐阜薬科大学病院薬学研究室 教授 吉村 知哲

「緩和薬物療法認定薬剤師制度」資格取得のための公式テキスト

緩和医療薬学 (改訂第2版)

編集 日本緩和医療薬学会 

初版からの内容更新に加え、19の症状や病態・がん以外の特定集団のマネジメントの解説をメインとした項目立てに大幅に変更。主要がんの治療・支持療法についても盛り込み、資格取得を目指す薬剤師だけでなく、緩和医療に携わる医療従事者、初学者にも役立つ一冊。

B5判・230頁 2023.4. ISBN978-4-524-23435-6
定価 4,400円（本体4,000円＋税10%）

